

施策の柱5.2 市民・事業者の環境意識啓発・人材育成、活動の支援

目標18

市民の環境意識の向上を図り、環境に関する活動への参加者数等を増やします。

【目標担当課：環境政策課】

目標18の進捗状況

●環境に関する主な事業への参加者数

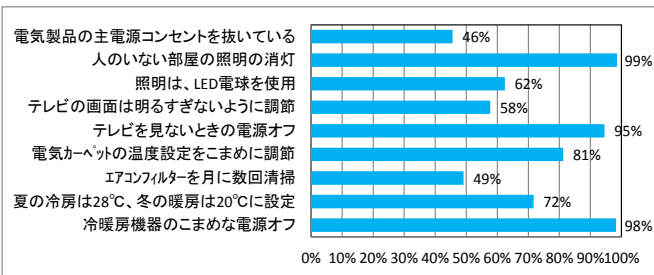
項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
環境フェア来場者数	約1,300人	約2,000人	約2,000人	約2,000人
里山はっけん隊！参加者数	23人 ※雨天により1回中止	延べ71人	延べ56人	延べ67人
こどもエコクラブ登録クラブ数	8クラブ	5クラブ	5クラブ	3クラブ
環境市民講座参加者数	33人	76人	104人	189人
農業・漁業体験プロジェクト 参加者数 ※平成23・24年度は環境政策課、平成 25年度は農業水産課が実施	延べ50人	延べ61人	延べ148人	延べ218人
公民館・文化資料館等 における環境に関する講座 参加者数	837人	1,609人	1,464人	1,959人

(参考)省エネルギー・地球温暖化に関する意識調査集計結果

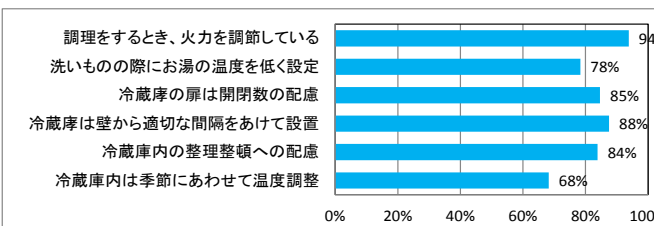
・家庭における省エネルギー・地球温暖化防止への取り組み(平成25年度)

	22年度	23年度	24年度	25年度
意識している	95%	95%	93%	94%
意識していない	5%	5%	7%	6%

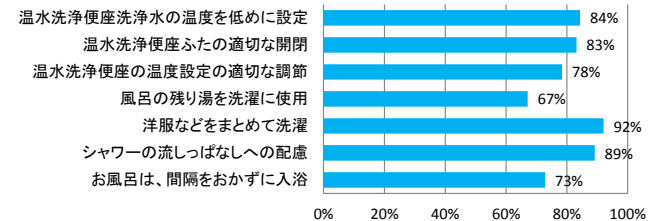
リビング



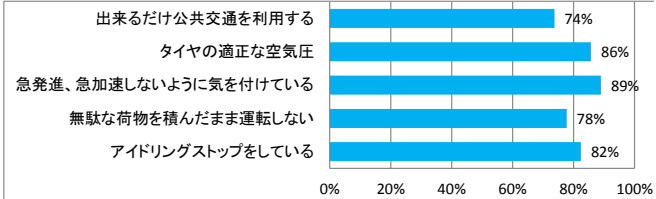
キッチン



浴室・洗面所・トイレ

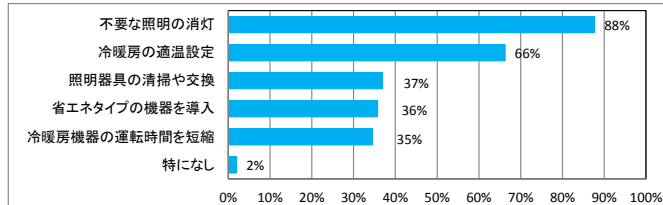


自家用車・交通

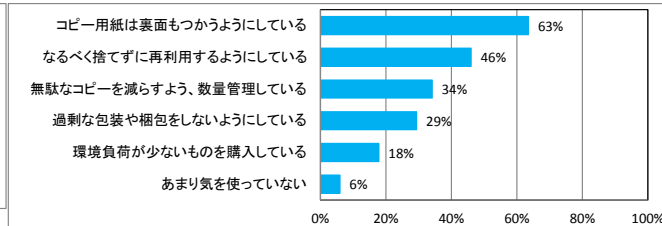


・事業所における省エネルギーへの取り組み（平成25年度）

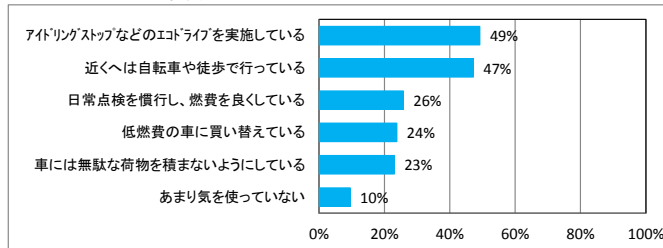
電気・水道について



資源の有効利用について



公共交通・車に関することについて



■目標の進捗状況に対する中間評価（平成23～26年度）

評価	順調に進んでいる
平成23年度から平成26年度にかけて、今まで環境問題にさほど高い関心を示していなかった方や環境問題に対する予備知識の少ない方、あるいは次世代を担う子どもたちが楽しみながら少しでも関心を持ってもらえるよう、環境フェアなど主にイベントを中心とした事業に取り組んできました。「環境に関する主な事業への参加者数」の表にもお示ししていますが、若干の変動はあるものの参加者数が少しずつ増えており、市民意識の高まりが見て取れるため、「順調に進んでいる」と評価しました。 また、「（参考）省エネルギー・地球温暖化に関する意識調査」では、多くの市民の方が省エネルギーを意識した行動をしていると回答しており、日常生活において様々な省エネ行動を行っています。目標14にある「電気・都市ガス由来の温室効果ガス排出量」のグラフにもありますが、世帯数の増加に対してCO₂排出量は下がっており、市民・事業者の環境意識の向上による省エネ行動の成果が上がっていると考えられます。	

■妥当性の検証と見直しの必要性

見直し	不要
市民の環境意識の向上を測る上で、環境に関する活動への参加者数の増加は有効な指標の一つとなり得ると考えられ、中間見直しの時点で変更を行う必要はないと考えています。	

重点施策34 意識啓発・人材育成

■施策の概要

- ・市内の環境に関する情報や、市民活動団体、事業者、市等による環境への取り組みに関する情報等を積極的に発信します。
- ・市民・事業者を対象とした環境に関する事業をより充実させ、参加者の増大を図ります。
- ・社会教育などの機会を捉えて環境に関する講座等を実施し、地域の中で知識や経験を広げていくことのできる人材の育成を図ります。
- ・環境意識啓発について、先進自治体の事例も参考にします。

■平成26年度の取り組み

①市民活動団体・事業者、市等の環境への取り組みに関する情報等の発信と充実

事業名	取り組み結果	担当課
広報紙、タウン紙、ホームページ、環境掲示板等を活用した情報発信	・環境フェアや講座などの環境に関するイベント情報、省エネルギーに関する補助金などの紹介、節電コンテストの募集、省エネツール貸出の周知、緑のカーテン配付のご案内、湘南エコウェブに関する情報、太陽光発電設備普及啓発基金への寄附の報告、省エネルギーや新エネルギーの利用に関する情報などを各種情報媒体を通じて随時発信しました。 ・「みんなの環境基本計画特集号(広報紙に折り込み)」を発行し、市民の方が日常生活の中で取り組める環境への取り組みを中心に、広く情報提供を図りました。	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」の制度構築	・「ちがさきエコネット」とは、地球温暖化対策をより推進するため市民、事業者へ情報を提供するとともに、市民、事業者が行っている省エネ活動などを紹介し、それらの情報を相互に交換することで市民、事業者、市が連携し、情報の共有および交流ができるポータルサイトです。 ・市民団体との協働事業として制度構築を進め、予定どおり完了しました。 ・当サイトには家庭などで使用する電気やガスの使用量から温室効果ガス排出量を算出する「環境家計簿」や、エコネット登録者同士で情報交換ができる「エコひろば」などの機能を設けています。	
市主催あるいは市民団体・事業者との協働によるイベント等事業の実施と啓発	・環境市民会議「ちがさきエコワーク」との共催により、「ちがさき環境フェア2014」を開催しました(約2,000人来場)。 ・環境市民会議「ちがさきエコワーク」との協働により「環境市民講座」を実施しました。 ※詳細は99ページからの資料2「環境市民会議「ちがさきエコワーク」の活動状況」をご覧ください。 ・「柳谷の自然に学ぶ会」、神奈川県公園協会との協働により「里山はっけん隊！」を実施し、自然観察に加え紙芝居やネイチャーゲーム、クイズ、里山料理、はっけんした「つながり」の発表などを行いました。 ・「里山はっけん隊！」では参加者アンケートを実施し、「里山を守るために人が手入れをする必要がある」、「人間が生きていくために大切なもの、大切にしていかなければいけないことを学びました」などの回答をいただき、里山での自然体験を通し、意識の向上が見られた方が多数いました。 ・里山公園倶楽部や神奈川県公園協会との協働により、「こどもエコクラブ交流会」を実施し、さつまいもの苗植えやネイチャーゲームなどを行いました。 ・農業・漁業体験プロジェクトを実施しました(農業水産課主催、計11回、参加者のべ218名)。	
人材育成への効果を把握するための内容を含めたアンケート等を実施	・「里山はっけん隊！」やちがさき環境フェア、緑のカーテン配付などの各取り組みの中でアンケートを実施し、環境に対する意識の変化や高まりを調査しています。 ・緑のカーテンセット配付者へのアンケートにおいて「地球温暖化防止対策をより取り組もうと思った、取り組むきっかけとなった」と82%の方が答えており、市民や事業者の地球温暖化や省エネ対策のきっかけづくりに寄与することができました。	
公民館・文化資料館における環境に関する講座の実施	・各施設などで講座を実施しました。 ※詳細は93ページからの資料1「市民などを対象とした環境に関する事業」をご覧ください。	社会教育課
ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業	・企画展「丸ごと100-茅ヶ崎を知る100の機会-展」において、講座「茅ヶ崎の環境」、自然観察会「中央公園の自然」などを実施しました。 ・6月から9月に開講したちがさき丸ごと博物館講座(基礎編)で、茅ヶ崎の自然を学ぶ講座をカリキュラムに組み入れて実施しました。	

■平成26年度予算執行状況

事業名	26年度予算額	26年度決算額	(参考)25年度決算額	担当課
広報ちがさき環境基本計画特集号の発行(再掲)	856千円	694千円	832千円	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」構築に係る負担金(再掲)	2,465千円	2,465千円	0千円	
ちがさき環境フェアの開催(再掲)	1,262千円	919千円	1,069千円	
里山はっけん隊！(再掲)	216千円	245千円	176千円	
環境市民講座等の開催(再掲)	153千円	133千円	93千円	
公民館・文化資料館における環境に関する講座の実施	582千円	572千円	590千円	社会教育課 各公民館等
合計	5,534千円	5,028千円	2,760千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・意識啓発、人材育成に向けた情報発信、市主催あるいは市民団体・事業者との協働によるイベント等の実施、地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット」の構築について、予定どおり実施できました。 ・「ちがさきエコワーク」との協働事業である環境市民講座については、会員の方のご尽力もあり、大人から子供まで多くの方に環境への興味・関心を持ってもらえるような内容で展開できました。 ・「里山はっけん隊！」や緑のカーテンに伴うアンケートの結果から、環境への取り組みに対する市民意識の高まりが見られました。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット」について、効果的な運用のために参加を募り多くの登録者を得ていく必要があります。 ・各取り組みによる意識啓発や人材育成の効果を客観的に測定することが難しい中で、できる限り把握を試みていく必要があります。	



カエルの卵を見つけよう！
(里山はっけん隊！(春))



かまどで火吹き体験
(里山はっけん隊！(冬))



地球温暖化対策ポータルサイト
「ちがさきエコネット」

重点施策35 現在活動している市民や市民活動団体、事業者による環境保全の取り組みの支援

■施策の概要

- ・市民活動団体や事業者に対し効果的な支援を行います。
- ・広報紙やホームページ等を活用し、取り組みを市内外へPRする機会の提供や表彰制度などのインセンティブを設けることにより、活動の促進と市民への普及、自主的な参加拡大を図ります。

■平成26年度の取り組み

①市民活動団体や事業者に対する支援

事業名	取り組み結果	担当課
環境市民会議「ちがさきエコワーク」の活動支援	・会議室の提供や資料の印刷、環境市民講座に必要な物品等の調達等、運営上必要な支援を行いました。 ・取り組みの発信など広報面での支援を行いました。 ・「ちがさきエコワーク」の活動は、99ページからの資料2「環境市民会議「ちがさきエコワーク」の活動状況」をご覧ください。	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」の制度構築	・「ちがさきエコネット」とは、地球温暖化対策をより推進するため市民、事業者へ情報を提供するとともに、市民、事業者が行っている省エネ活動などを紹介し、それらの情報を相互に交換することで市民、事業者、市が連携し、情報の共有および交流ができるポータルサイトです。 ・市民団体との協働事業として制度構築を進め、予定どおり完了しました。 ・当サイトには家庭などで使用する電気やガスの使用量から温室効果ガス排出量を算出する「環境家計簿」や、ちがさきエコネット登録者同士で情報交換ができる「エコひろば」などの機能を設けています。	
電気自動車購入費補助事業	・二酸化炭素の排出抑制に向け、市民や事業者向けに電気自動車(EV)の普及促進を図るため補助を行いました(補助件数34件、1台につき75,000円)。	
エコ事業者認定制度の導入	・地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット」に合わせて制度構築を進め、完了しました。	
環境美化推進事業	・海岸や公道、公園等の公共的な場所における清掃活動にあたり、ゴミ袋や軍手を配布しました。 ・参加人数:7,435人、ゴミ袋配布数:可燃11,219袋、不燃4,949、軍手配布数:5,305双	環境保全課
環境美化に関する民間団体補助事業	・美化運動を自主的に実施している市内の団体に対し、美化意識啓発(看板設置など)、花の植栽、美化清掃等の活動を対象として補助金を交付しました。 ・申請団体数:28団体	
資源回収推進地域補助金制度	・地域別の資源物収集量に応じて上半期分と下半期分の2回補助金の交付を行いました。 ・交付団体:137団体、補助金額:36,947千円	資源循環課
緑化推進団体活動事業費補助金制度	・6団体を対象に各8千円の補助を行っています。 ・各団体は補助金を活用しそれぞれの緑化推進活動を行っています。	景観みどり課
「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」への支援	・26社で構成される同団体に対し16千円の補助を行っています。 ・清水谷や平太夫新田での市民団体による保全作業に参加しています。	
市民団体「清水谷を愛する会」への支援	・詳細は20ページの重点施策3,4をご参照ください。	
市民団体「相模川の河畔林を育てる会」への支援	・詳細は22ページの重点施策5,6をご参照ください。	
赤羽根十三図の保全作業をしている市民有志への支援	・詳細は23ページの重点施策7をご参照ください。	景観みどり課 環境政策課
市民団体による保全作業(行谷)	・詳細は25ページ重点施策9をご参照ください。	

②環境に関する取り組みを市内外へPRする機会の提供、活動の促進、市民への普及、自主的な参加拡大

事業名	取り組み結果	担当課
「ちがさき環境フェア2014」の開催	・環境市民会議「ちがさきエコワーク」との共催により開催しました。 ・市民団体、事業者、学生、市により企画実行委員会を設置し、企画および当日の運営を協働で行いました。 ・市民団体、事業者による環境への取り組みを市民に周知する機会を提供しました。 ・出展団体:74団体、来場者:約2,000人	環境政策課
市民団体との協働による環境市民講座の開催	・環境市民会議「ちがさきエコワーク」との協働により開催しました(7回)。 ※詳細は、93ページからの資料1「市民などを対象とした環境に関する事業」をご覧ください。	

■平成26年度予算執行状況

事業名	26年度予算額	26年度決算額	(参考)25年度決算額	担当課
環境市民講座等の開催	153千円	133千円	93千円	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」構築に係る負担金(再掲)	2,465千円	2,465千円	0千円	
ちがさき環境フェアの開催(再掲)	1,262千円	919千円	1,069千円	
環境美化に関する民間団体補助事業	350千円	350千円	330千円	環境保全課
資源回収推進地域補助金制度	41,000千円	36,947千円	38,409千円	資源循環課
緑化推進団体活動事業費補助金	48千円	48千円	48千円	景観みどり課
「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」への支援	16千円	16千円	16千円	
合計	45,294千円	40,878千円	39,965千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・「ちがさきエコワーク」の活動支援、「ちがさき環境フェア2014」について予定どおり実施することができました。 ・「ちがさき環境フェア2014」の企画、運営については平成25年度と同様、市民団体、事業者、学生、市が協力して推進し、環境基本計画(2011年版)の重要な視点である「協働」を体現したイベントとすることができました。 ・地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット」の構築が完了し、市民あるいは事業者に対する新たな情報発信・共有の可能性を広げることができました。 ・地域別の資源物収集量に応じて上半期分と下半期分の2回補助金の交付を行い、地域活動の促進に寄与しました。	C A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)
課題 ・地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット」について、効果的な運用のために参加を募り多くの登録者を得ていく必要があります。 ・資源回収推進地域補助金制度について、地域の中で制度をより活用していただくために、さらなる資源物の分別についてごみ通信ちがさきやホームページなどを通じて引き続き周知啓発をしていく必要があります。	



ちがさき環境フェア2014

左上:市民団体、事業者、行政による環境展・ワークショップ

右上:おもしろ環境教室「燃料電池ってなんだろう?」

中央下:電気自動車「チョイモビ」試乗会